



ごみ減量等推進員

| 地域 | 氏名 |
|----|---------|
| 高梁 | 山本 都久子 |
| 津川 | 川建 眞由美 |
| 川面 | 平野 美代子 |
| 巨瀬 | 福島 主基雄 |
| 中井 | 室 紀一郎 |
| 玉川 | 西 時江 |
| 宇治 | 森 田 公枝子 |
| 松原 | 藤 井 敬子 |
| 高倉 | 山 川 一郎 |
| 落合 | 政 森 末男 |
| 有漢 | 土 手 奈美子 |
| 成羽 | 田 邊 博司 |
| 川上 | 三 村 潔 |
| 備中 | 森 繁 俊太郎 |

(敬称略)

環境にやさしいまちづくりを目指して「ごみ減らし隊」誕生

■問い合わせ
環境課環境政策係 (☎0259)



今年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画では、1人1日当たりのごみ排出量を、平成32年度までに719グラム以下にすることを目標としています。

ごみの減量化を促進するためには、ごみの発生を抑制(リデュース)するほか、物の再利用(リユース)によりごみを減らし、再資源化(リサイクル)により再利用することをより一層推進していく必要があります。

こうした状況を受けてさらなるごみの減量と再利用の促進を図るため「ごみ減らし隊」制度(正式名称「ごみ減量等推進員制度」)を設置しました。

この制度は、従来「発生したごみをどう処理するのか」という視点だったものから、「ごみの発生をどう抑制するのか」という視点へと、廃棄物行政の基

本的な姿勢が大きく転換したことにより創設された制度です。ごみ減らし隊の皆さんには、今後2年間、町内会等と密接な連携をとりながら、市とともにごみ減量化の施策に取り組む「地域のリーダー」として活躍していただきます。

生ごみたい肥化講習会を開催

市は、「生ごみたい肥化モデル事業」に取り組んでいます。この事業は、ごみの発生抑制と再利用、そして環境美化の観点から、家庭から排出される生ごみのたい肥化と環境美化に対する自主的な活動を促すとともに、モデル事業として今後の施策に必要な情報等を得ることを目的としています。

再資源化した生ごみ堆肥を家庭菜園に利用したり、草花を育てて地域の環境美化の取り組み



熱心に講習を受ける「kawa/エコちゃん：1」の皆さん

平成23年度上半期
(4月から9月までの)
1人1日当たりのごみ排出量

現在 980グラム
目標 719グラム
削減目標 261グラム

不法投棄のごみ処理について
春の遠足で、中国自然歩道ルートに指定されている、天神山へ行きました。途中、道下を見ると壊れた洗濯機などと一緒、たくさんのごみが捨てられていました。

湯野小学校では、「カントリークラブ湯野」という名前で、毎年、道のごみ拾いをしています。たくさんのごみ



佐古 大輝 議員
湯野小 湯野小 議員

校舎は県の重要文化財に指定されており、大切に保存していかなければならないと考えています。

市は昨年10月、「高梁市歴史の風致維持向上計画」をつくり、高梁市がもつ歴史的な建造物や伝統芸能など、貴重な歴史的遺産を生かしたまちづくりを進めています。

この計画の中に、吹屋小学校の保存修理も入っていて、歴史ある校舎を保存していく方向で、地元の皆さんの考えも聞きながら準備を進めています。

また、本館の三間廊下や2階の二重折上天井、百年オルガンも見学ができるようにしたいと思います。

自然環境への配慮が欠ける心ない人による、山林や河川などへのごみの投棄が絶えないのは、残念なことです。

市は、市民参加による環境美化活動の支援や、ごみが捨てられやすい場所への看板や啓発鳥居の設置をしています。

また、県や警察と連携し、不法投棄への対応などに取り組んでいます。が、不法に捨てられたごみが、どれだけあるかは確認できていません。不法投棄の情報が入ると、警察などと現場へ向かい、捨てられたごみを調査し、捨てた人の特定を行います。特定ができれば、本人にそのごみを撤去させたり、それに応じない場合は、厳しく処分を行います。

この問題は、皆さんの未来の環境に関わるもので、学校・地域・市役所が一緒になって取り組んで行くべき課題です。今後とも皆さんのご協力をお願いします。

近藤市長
私たちが登下校している道路は、道幅が狭く、自動車が行き交うと通れるようなところが多く、夏は草が道路まで伸び出して、見通しが悪い場所があります。

そこで、お願いしたいことがあります。1つ目は、ガードレールの設置。2つ目は、車がよく通る場所へ、横断歩道を付けてもらいたいということです。

西山には高齢の方も多いため、ガードレールや横断歩道が整備されれば、私たちが安全・安心に登下校できるだけでなく、地域の人も同じように安心して生活ができると思います。よろしくお願いします。



江草 昌志 議員
松井 夕陽香 議員
樋口 真子 議員
西山小 西山小 議員

近藤市長
危険な場所が県道の場合は、市から県に設置をお願いします。また、市道であれば市が整備を行います。ただ、市道だけでも全体で、約1400ヶ所あるため、一度に多くの場所を整備するのは難しいのが実情です。皆さんが安心して学校に

通えるよう、なるべく早く整備をします。他のお友達が学校へ通う道でも、危険な場所がありましたら、先生に知らせてください。

道路の草刈りも、市が全路線を行うのは難しく、皆さんのお父さんやお母さんの力を借りながら、安心して学校に通える道路にしています。

横断歩道の設置は、県の公安委員会が、道路を横断する歩行者の数、自動車の通行量をもとに設置をしています。

西山地区も道路整備が進み、交通量も多くなっていると思います。安全に通学ができ、勉強に集中できるよう、また、高齢者の方も安心して道路が利用できるよう、必要な場所であれば、設置を要望していきます。



子ども議会という機会をいただき、私たちの意見を聞きました。みんなが発表してくださったうれしいです。今日は議長をして緊張しましたが、無事に終わってホッとしました。森宗 美穂子さん(玉川小)

子ども議会の議長という大変な役目を経験させていただきました。議事をスムーズに進めるために緊張しましたが、とても勉強になりました。僕たちの意見を基に高梁市がもっと良くなればうれしいです。執行部の皆さんありがとうございました。大塚 泰成くん(川上小)